

(白紙)

下記の手順に従って、使用する PC（データサーバ もしくは 作業者用） の設定を済ませて下さい。

- 設定後は可能な限り実使用時と同じ状態で、全 PC の電源を投入 → Creo を起動 → データサーバに同時アクセス → アクセス権の確認など、問題なく動作するか事前に確認して下さい。

## 1. データサーバのフォルダ構成について

- ダウンロードした `setup_creo_yyyymmdd.zip` (yyyymmdd は日付) を解凍すると、`setup_creo_yyyymmdd` フォルダ以下に必要な環境設定ファイル一式が展開されます。
- フォルダの名称は `setup` (`_yyymmdd` を削除) に変更しておいてください。
- 作業者ごとにユーザアカウント (例: `pro01`, `pro02`, `pro03`, ...) を作成し、データサーバに作成した作業フォルダ毎にセキュリティ (アクセス権) を設定して下さい。
  - ユーザアカウントは、既存のアカウントを使用しても構いませんが、PC毎に異なるものとして下さい。
  - 個人 (1名) で使用する場合は不要です。

## 2. 作業者用 PC のフォルダ構成について

- 作業者全員の PC に `c:\%temp` もしくは `d:\%temp` フォルダを作成し、書き込み可能なアクセス権を与えて下さい。

## 3. 図面枠およびテンプレート

- 図面枠ファイルは `dwg_a1~a4v_creo.frm`、ビュー配置済みのテンプレート図面は `dwg_a1~a4v_view_creo.drw` を使用します。
- 設計用のテンプレートは `master_creoxx.asm` (アセンブリ) および `master_creoxx.prt` (部品) を使用します。

## 4. 環境設定ファイル `config.pro` と UI カスタマイズファイル `creo_parametric_customization.ui` の保存場所

- 参考として目を通して下さい。

## 5. 環境設定ファイル `config_creoxx.pro` の編集

- `setup_creo_yyyymmdd.zip` を解凍後、名前変更した `..setup/config` フォルダ以下にある `config_creoxx.pro` をメモ帳などで開き、`-- Path and Directory --` 以下の内容を確認してください。
- ファイルやフォルダの検索場所、データサーバに作成した作業用フォルダ、共用部品フォルダのサーチパス設定など、実際の PC 環境に合わせて追記・修正して下さい。

## 6. Creo 環境設定コピー & 起動用バッチファイルの編集

- `..setup/bat` フォルダ内にある [Creo環境設定コピー & 起動用バッチファイル] `creoxx_setup.bat` の内容をメモ帳などで編集します。

## 7. Creo 起動用アイコンの設定

- Creo 起動用アイコンを作成して、プロパティでリンク先と作業フォルダを指定します。

xx は Creo のバージョン (creo 10 など)  
 bbbb はビルド番号 (Creo 11.0.1.0 など) に対応

- 11 (42) Creo Parametric 11.0.b.b
- 10 (41) Creo Parametric 10.0.b.b
- 9 (40) Creo Parametric 9.0.b.b
- 8 (39) Creo Parametric 8.0.b.b
- 7 (38) Creo Parametric 7.0.b.b
- 6 (37) Creo Parametric 6.0.b.b
- 5 (36) Creo Parametric 5.0.b.b
- 4 (35) Creo Parametric 4.0.b.b
- 3 (34) Creo Parametric 3.0.b.b
- 2 (33) Creo Parametric 2.0.b.b

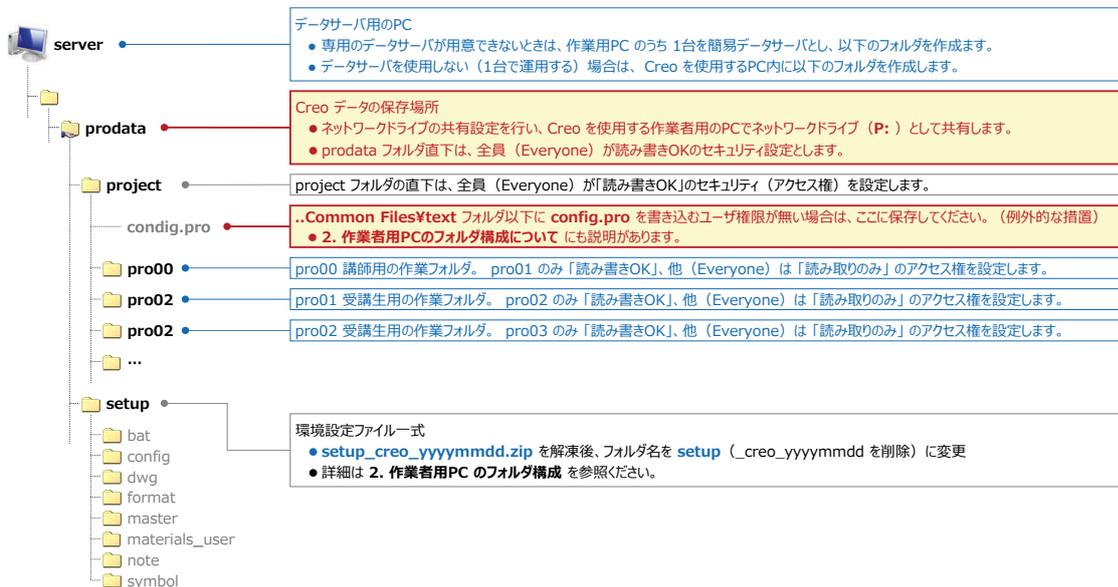
## ● その他

- この文書自体は `setup_creo_yyyymmdd_2P.pdf` を参照して下さい。
- よく使うコマンドリストは `command_lists_creoxx_yyyymmdd.pdf` を参照下さい。

# Creo 環境設定

## 1. データサーバのフォルダ構成について

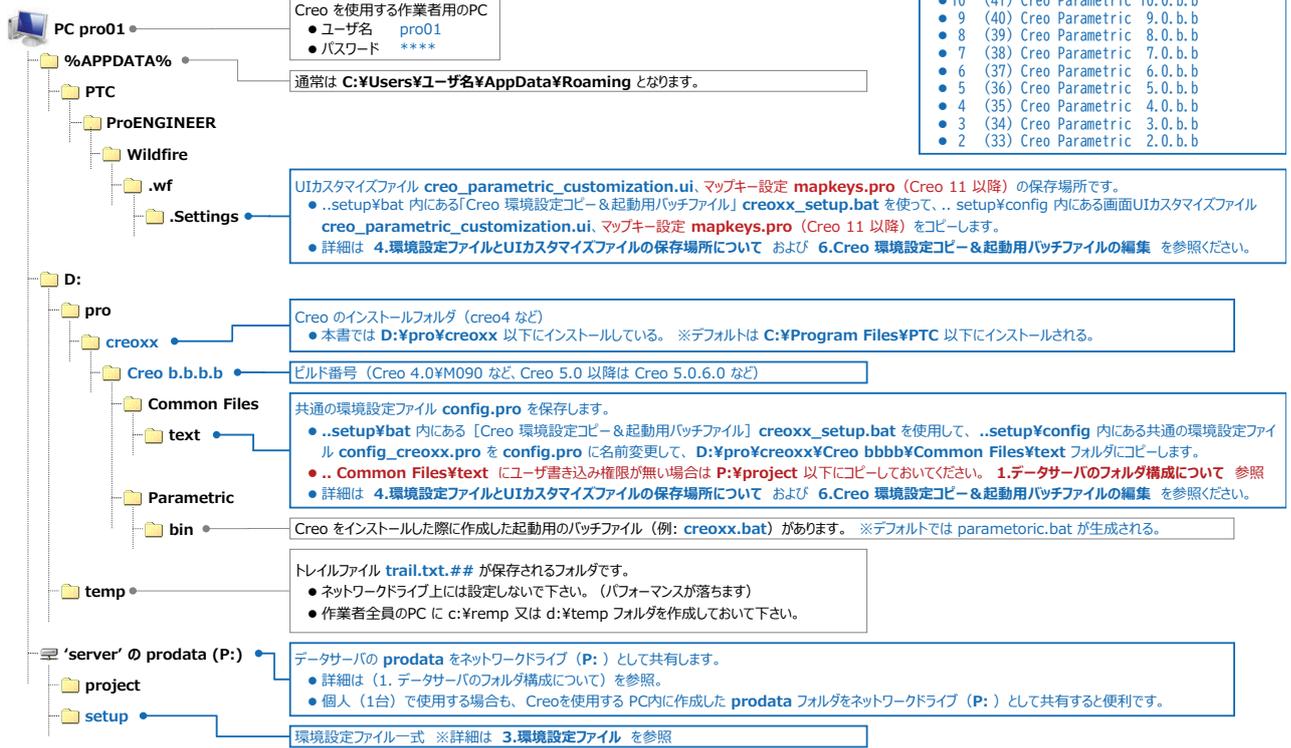
- データサーバとして使用するPCに、以下の作業フォルダに必要な人数分だけ作成します。
  - 作業フォルダの名前は任意ですが、ここでは `pro00`, `pro01`, `pro02`, ... としています。
  - データサーバにはサーバソフトがインストールされたPCを用いて下さい。
  - 専用のデータサーバが用意できないときは、作業用PCのうち 1台を簡易データサーバとします。その場合、同時に接続できるPCの数には制限 (4台程度) がありますので、実際の環境で確認してください。
- 作業者ごとにユーザアカウントを作成し、作業フォルダにアクセス権を設定して下さい。
  - ユーザアカウントは、既存のアカウントを使用しても構いませんが、ここでは `pro00`, `pro01`, `pro02`, ... としています。
  - ユーザアカウントごとに、セキュリティ (アクセス権) を設定して下さい。 ※個人 (1名) で使用する場合は不要です。



# Creo 環境設定

## 2. 作業用PCのフォルダ構成について

- Creo を使用するPC のフォルダ構成例を以下に示します。



# Creo 環境設定

## 3. 環境設定ファイル

- `setup_creo_yyyymmdd.zip` を解凍後、`setup_creo_yyyymmdd` フォルダに必要な環境設定ファイル一式が展開されます。
  - フォルダの名称は `setup` に変更 (`_creo_yyyymmdd` を削除) しておいてください。
  - 環境設定ファイルは [http://gah01300.g.dgdg.jp/gah01300/proe/manual/knowhow/config\\_pro.html](http://gah01300.g.dgdg.jp/gah01300/proe/manual/knowhow/config_pro.html) からダウンロードできます。



# Creo 環境設定

## 4. 環境設定ファイル config.pro とUIカスタマイズファイル creo\_parametric\_customization.ui の保存場所について

- config.pro (下記、1→2→3→4 の順に読み込まれ、同じ設定があった場合は最後に読み込んだ内容が設定されます)

読み込み順位	設定ファイル名と保存場所の概要
1	<p><b>D:\pro\creoxx\Creo xx.0\Common Files\bbbb\text\ config.sup</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Creo の起動時には必ず自動的に読み込まれる。(通常は特に設定内容はありません)</li> <li>● config.sup の設定が全てに優先されるので、変更不可の内容 (グラフィック、ハードに依存する設定など) があれば、記載しておくが良い。</li> </ul>
2	<p><b>D:\pro\creoxx\Creo xx.0\Common Files\bbbb\text\ config.pro</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Creo の起動時には必ず自動的に読み込まれるので、全員が共通で使用する環境を設定しておくよい。</li> <li>● 同じ設定項目が存在した場合、後から読み込まれた config.pro の設定項目が優先される。</li> <li>● 実際には ..setup\bat 内にある [Creo 環境設定コピー &amp; 起動用バッチファイル] <b>creoxx_setup.bat</b> を使用して、..setup\config 内にある共通の環境設定ファイル <b>config_creoxx.pro</b> を <b>config.pro</b> に名前変更し、D:\pro\creoxx\Creo bbbb\Common Files\text フォルダにコピーしています。</li> </ul>
3	<p><b>P:\project\ config.pro</b> もしくは <b>P:\project\pro01\ config.pro</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Creo を起動するカレントの作業フォルダに config.pro があると、自動的に読み込まれる。</li> <li>● プロジェクト毎に必要なサーチパス、特殊な項目などを設定する。</li> <li>● 同じ設定項目が存在した場合 (3) で読み込まれた config.pro の設定項目が優先される。 ※ユーザ書き込み権限が無いため (1、2) の設定ができない場合は (3) の設定を行う。</li> </ul>
4	<p><b>P:\project\pro01\ config_user.pro</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一時的に変更したい設定、個人的な設定などを記述する。ファイル名は [config_任意の名前.pro] とする</li> <li>● Creo の起動時には読み込まれないので、必要な時に手動で読み込む。任意の場所にある環境設定ファイルを読み込むこともできる。</li> </ul>

- creo\_parametric\_customization.ui (保存場所とファイル名によって、優先順位が決まります)

優先順位	設定ファイル名と保存場所の概要
1	<p><b>P:\project\ creo_parametric_customization.ui</b> もしくは <b>P:\project\pro01\ creo_parametric_customization.ui</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Creo を起動するカレントの作業フォルダに <b>creo_parametric_customization.ui</b> があると、自動的に読み込まれる。</li> <li>※config.pro で [load_ui_customization_run_dir] の値を [YES] にしている場合。</li> </ul>
2	<p><b>%APPDATA%\PTC\ProENGINEER\Wildfire\wf\Settings\ creo_parametric_customization.ui</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● %APPDATA% の部分は通常 C:\Users\ユーザ名\AppData\Roaming となります。</li> <li>● 全員が共通で使用するUIカスタマイズファイルを作成しておくよい。</li> </ul>
3	<p><b>D:\pro\creoxx\Creo bbbb\Common Files\text\ creo_parametric_admin_customization.ui</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● UIカスタマイズファイルに [_admin] が入ることに注意。</li> </ul>

# Creo 環境設定

## 5. 環境設定ファイル config\_creoxx.pro の編集

- メモ帳などで -- Path and Directory -- 以下の内容をPCの環境に合わせて書き換えます。
- サーチパス (ファイルの検索範囲) に作業フォルダや共用部品フォルダの場所を追加します。
  - 右記は config\_creo11.pro の例です。
  - 不要なサーチパスを記載すると、ファイルの呼び出し時間が長くなるので注意して下さい。
  - Creo 6.0 以降ではモデルツリー設定が無効となっていますが、再設定の際に必要となるので、モデルツリー設定ファイル tree\_creoxx.cfg 自体は残してあります。

枠内は各種ファイルの保存場所などを指定している部分です。使用するPCの環境に合わせて書き換えて下さい。! マークはコメント行で、記載内容は無視されます。

標準の材料定義ファイル [materials-library] を使用する場合はコメントアウト (行頭に ! を追加) しておいてください。

必要であれば、サーチパスに各自の作業フォルダや共用部品を保存しているフォルダの場所を追加します。

```

! -----
! Standard config.pro for Creo Parametric 11.0
! Ryu-na Design and Engineering
! Last Updated: 20250206 by NISHIKAWA@Ryu-na
!
! Option: default value(lower case) / CUSTOMIZED VALUE(UPPER CASE)
! Upper Line: Ryu-na settings
! Lower Line: customized by user
! -----
!
!
! -- Path and Directory --
!
drawing_setup_file $setup_dir\dwg\config_creo.dtl
format_setup_file $setup_dir\dwg\config_creo.dtl
last_session_directory_path $temp
! mdl_tree_cfg_file $setup_dir\tree_creo11.cfg (注)
pen_table_file $setup_dir\table.pnt
plot_file_dir $temp
plotter DEFAULT
plotter_command WINDOWS_PRINT_MANAGER
pro_colormap_path $setup_dir
pro_dtl_setup_dir $setup_dir\dwg
pro_editor_command notepad.exe
! pro_editor_command PROTAB
pro_font_dir C:\Windows\Fonts
pro_format_dir $setup_dir\format
! pro_material_dir $setup_dir\materials user
pro_note_dir $setup_dir\note
pro_plot_config_dir $setup_dir
pro_symbol_dir $setup_dir\symbol
relation_file_editor PROTAB
!
search_path $setup_dir\dwg
search_path $setup_dir\format
search_path $setup_dir\master
search_path $setup_dir\symbol
! ...
!
start_model_dir $setup_dir\master
system_colors_file $setup_dir\syscol_creo11.scl
template_solidpart $setup_dir\master\master_creo11 prt
template_designasm $setup_dir\master\master_creo11.asm
template_drawing $setup_dir\master\dwg_a3_view_creo.drw
trail_dir $temp
!
! -- General Settings --
    
```

# Creo 環境設定

## 6. Creo 環境設定コピー & 起動用バッチファイルの編集

- P:¥setup¥bat¥creoxx\_setup.bat の内容を編集します。

```

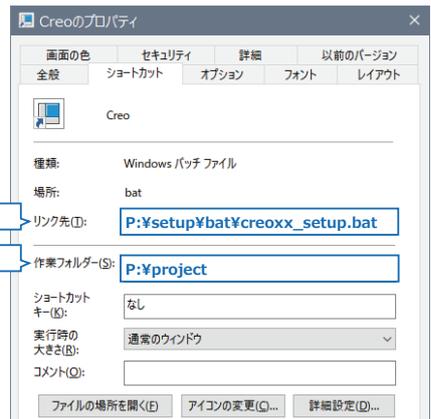
set LANG=japanese
set setup_dir=P:¥setup
set inst_dir=D:¥pro¥creo11¥Creo 11.0.1.0¥Parametric
set common_dir=D:¥pro¥creo11¥Creo 11.0.1.0¥Common Files
set temp=D:¥temp

if not exist "%APPDATA%¥PTC¥ProENGINEER¥Wildfire¥.wfx¥Settings" mkdir "%APPDATA%¥PTC¥ProENGINEER¥Wildfire¥.wfx¥Settings"
copy "%setup_dir¥config¥creo_parametric_customization.ui" "%APPDATA%¥PTC¥ProENGINEER¥Wildfire¥.wfx¥Settings¥creo_parametric_customization.ui"
copy "%setup_dir¥config¥mapkeys.pro" "%APPDATA%¥PTC¥ProENGINEER¥Wildfire¥.wfx¥Settings¥mapkeys.pro"
copy "%setup_dir¥config¥config.sup" "%common_dir¥text¥config.sup"
copy "%setup_dir¥config¥config_creo11.pro" "%common_dir¥text¥config.pro"

"%inst_dir¥bin¥creo11.bat"
    
```

環境設定ファイル一式の保存フォルダを指定  
Creo のインストールフォルダを指定  
Creo の Common フォルダを指定  
ローカルドライブ (C:¥temp もしくは D:¥temp) を指定  
Creo 初回起動時に作成されますが、フォルダが無い場合は作成するようにします。  
%APPDATA% の部分は通常 C:¥Users¥ユーザ名¥AppData¥Roaming となります。  
creo\_parametric\_customization.ui, mapkeys.pro (Creo 11 以降) を %APPDATA%¥PTC¥ProENGINEER¥Wildfire¥.wfx¥Settings¥ フォルダへコピーします。  
Creo をインストールした時に作成された起動用のバッチファイルを指定します。  
config.sup, config.pro を %common\_dir¥¥text フォルダへコピーします。  
[注] ユーザの書き込みが許可されていない場合は P:¥project 以下にコピーしておいてください。(この行はコメントアウト)

- (1) で作成した [Creo環境設定コピー & 起動用バッチファイル] creoxx\_setup.bat を指定します。
- Creo を起動する作業ホルダ (project など) を指定します。



## 7. Creo 起動用アイコンの設定

- Creo 起動用アイコンのプロパティを開いて、リンク先と作業フォルダを編集します。
- 作業用のパソコン毎に設定します。



# Creo 環境設定

## 8. 図面印刷時の線幅や色に関しては、ペンテーブルファイル (table.pnt) でコントロールします。

- table.pnt の内容

```

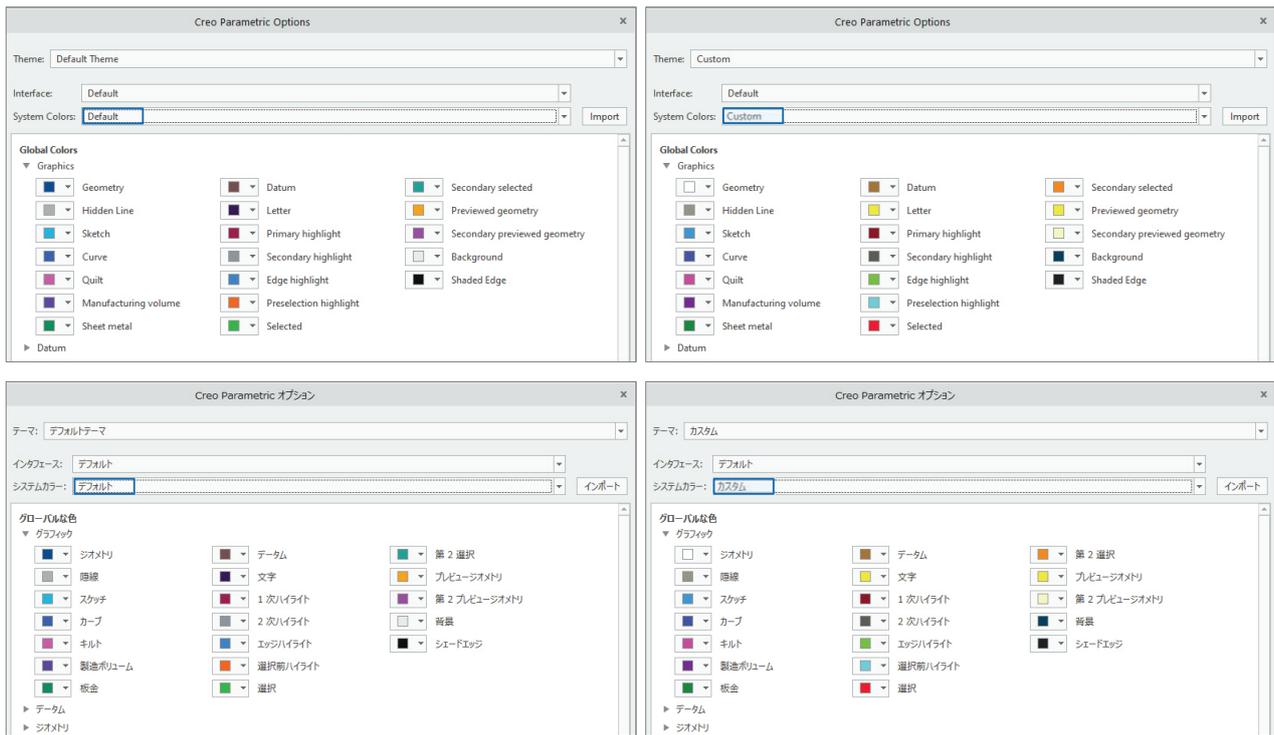
pen 1 thickness 0.02 cm; color 0.0 0.0 0.0; drawing_color
pen 2 thickness 0.01 cm; color 0.0 0.0 0.0; quilt_color, magenta_color, preview_geom_color, letter_color, dimmed_color, half_tone_color
pen 3 thickness 0.01 cm; color 0.0 0.0 0.0; highlight_color, edge_highlight_color, section_color, selected_color, secondary_selected_color
pen 4 thickness 0.03 cm; color 0.0 0.0 0.0; attention_color, sheet_metal_color
    
```

線幅: thickness 0.02 cm (0.2mm)  
線色: color 0.0 0.0 0.0 (黒) ※R G B 値  
ペンに割り当てられる色: drawing\_color など

# Creo 環境設定

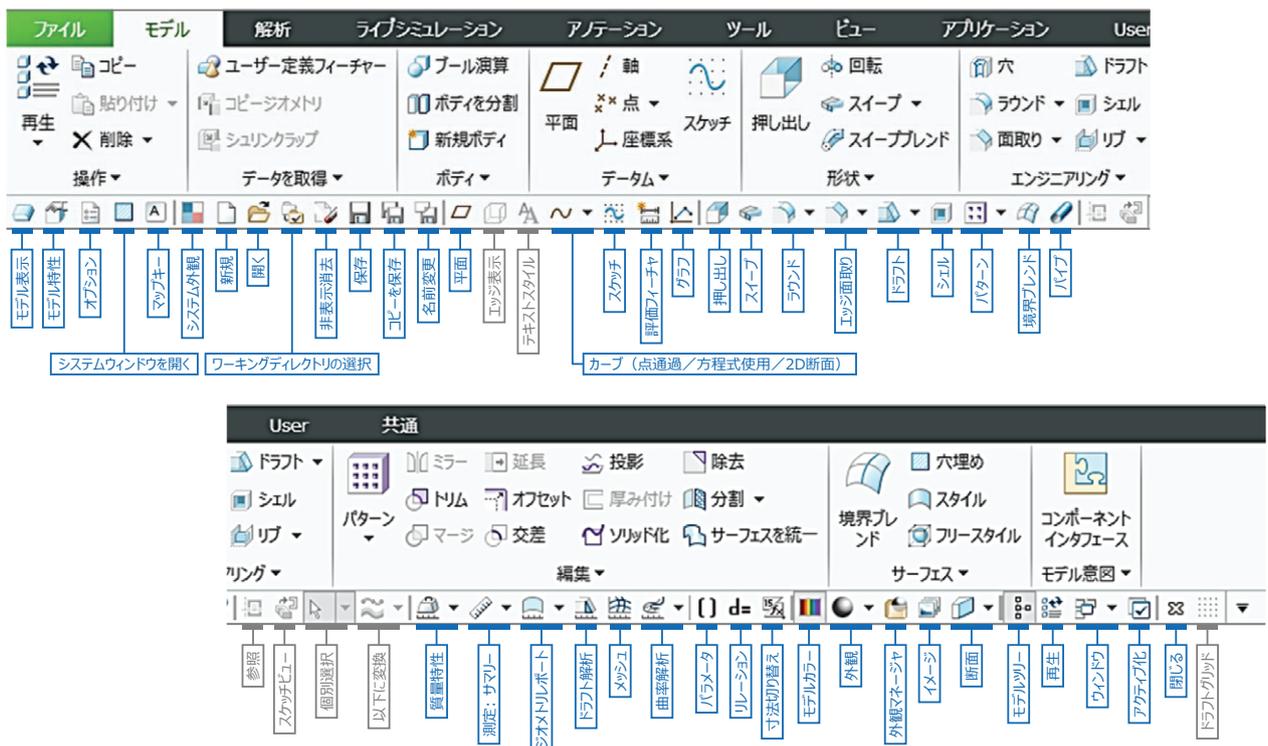
参考にシステム外観 (System Appearance) のデフォルト設定とカスタマイズ設定の色指定を記載しておきます。

- 英語モードの画面も記載しておきますので、ペンテールファイルの指定も理解しやすいかと思います。



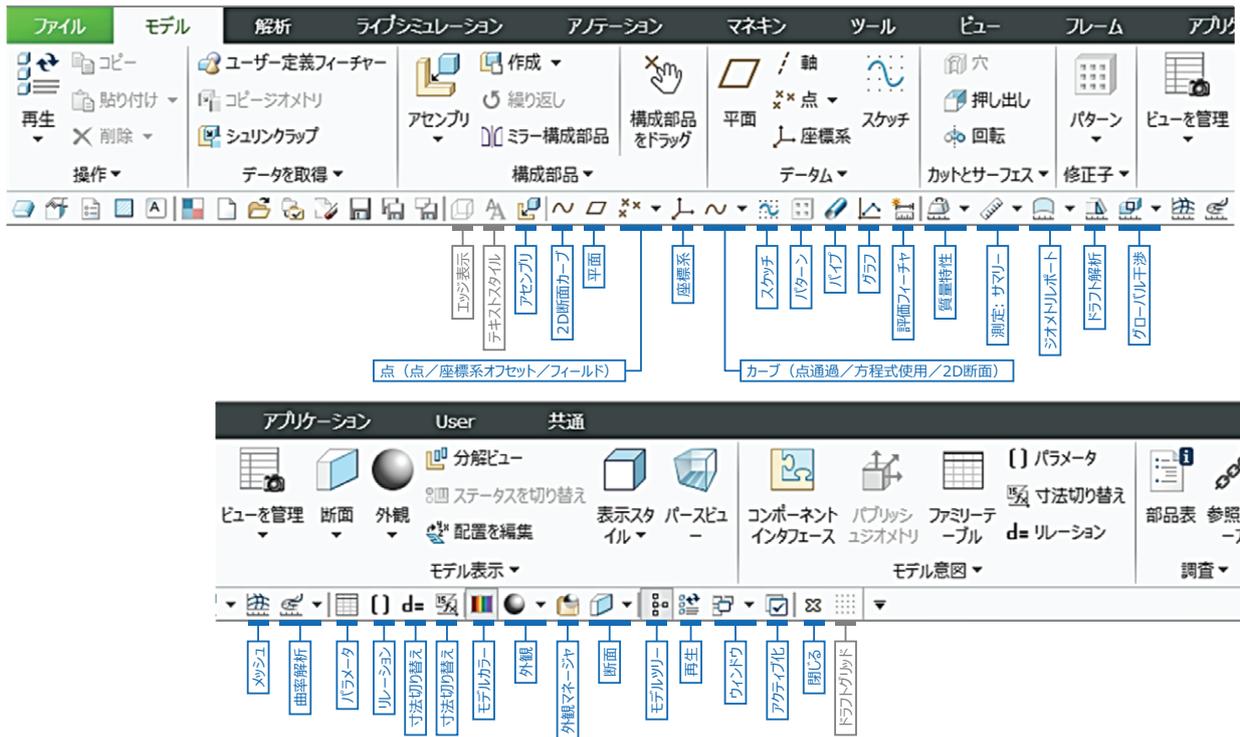
# Creo 環境設定

参考をクリックアクセスツールバーのカスタマイズ内容 `creo_parametric_customization.ui` を記載しておきます。(部品モード)



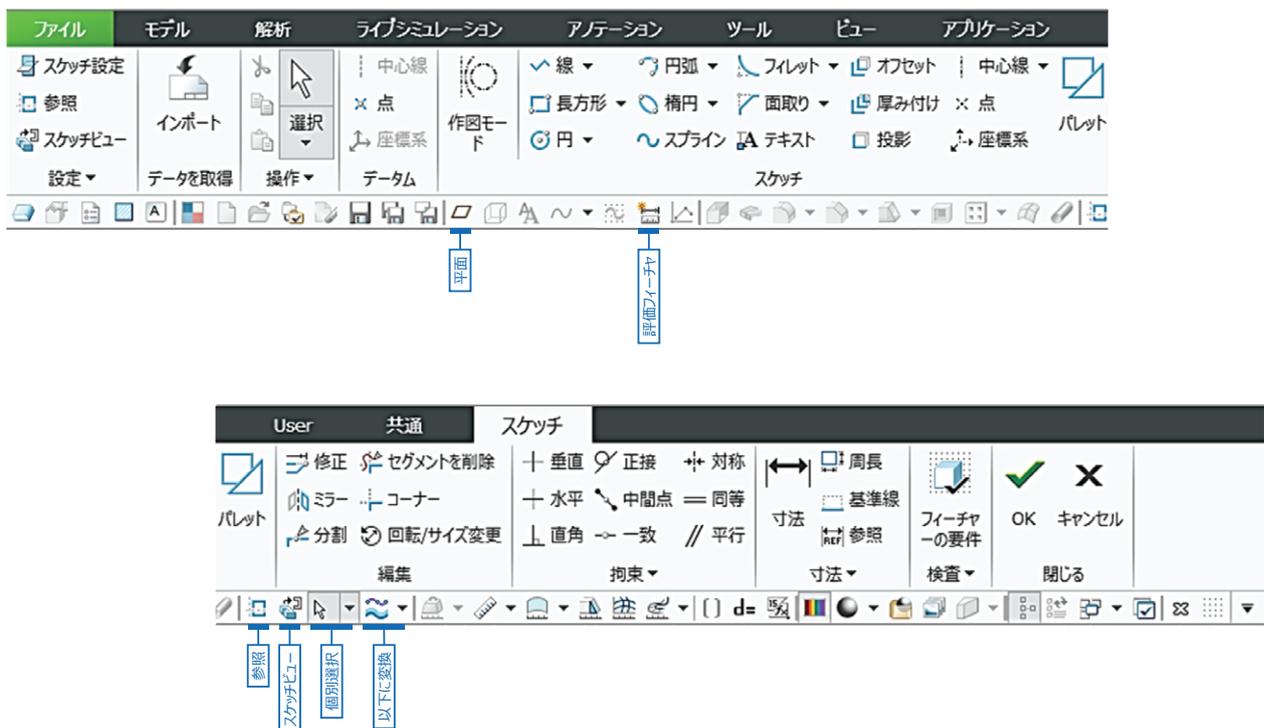
# Creo 環境設定

参考にクイックアクセスツールバーのカスタマイズ内容 `creo_parametric_customization.ui` を記載しておきます。(アセンブリモード)



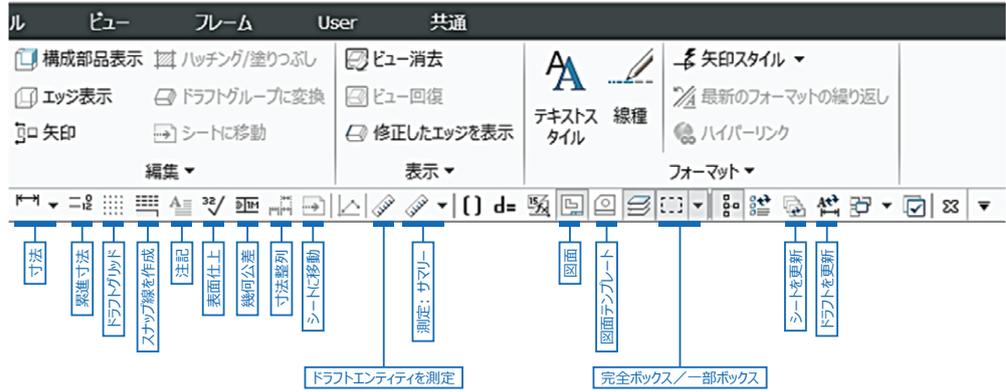
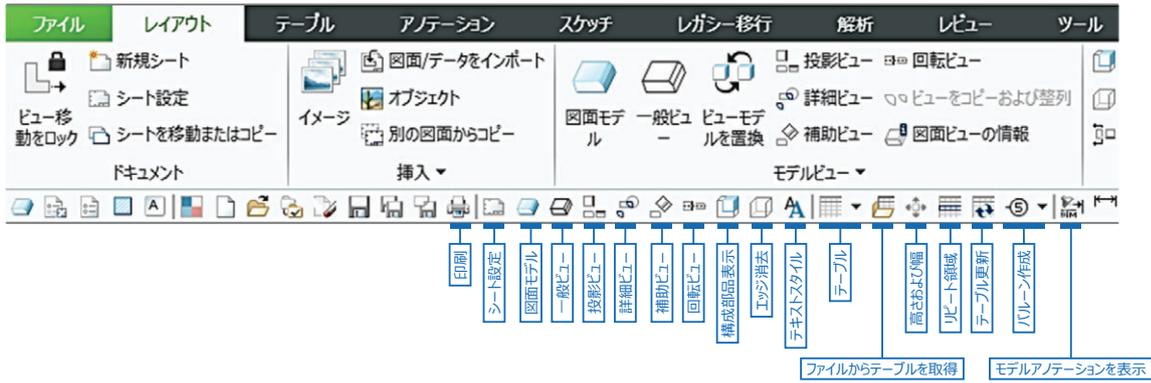
# Creo 環境設定

参考にクイックアクセスツールバーのカスタマイズ内容 `creo_parametric_customization.ui` を記載しておきます。(スケッチモード)



# Creo 環境設定

■ 参考にクイックアクセスツールバーのカスタマイズ内容 `creo_parametric_customization.ui` を記載しておきます。(図面モード)



(白紙)